



夢の本棚

発行所：松居直コレクション
プロジェクト
代 表：金戸 美紀子
事務局：石川県小松市
小馬出町10-3
空とこども絵本館
☎ 0761-23-0033
bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】①絵本の楽しさを伝える <親子読書の奨励> ②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える <絵本文化の研究>
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える <絵本文化の継承>

松居家のルーツを訪ねて 近江商人発祥の地

近江商人の
家系に生まれて

◆『松居直自伝』の第一章「幼少期から大学時代まで」は「近江商人の家系に生まれて」との小見出しから始まっています◆松居家はもともと呉服商を営んでおり、初代の**松居久次郎**は、寛文7（1667）年に商売をはじめたとされています。そして、三代目の**久左衛門**が、江戸と京都の両方に店を構えたと記されています◆近江商人というのは、元来は水呑み百姓で、本当に貧しい暮らしをしており、松居家も中山道筋（東**近江市五個荘**）にありました。戦乱の世の中では、地方から諸将が京都をめざす往復戦場にあつた所で、とうてい百姓などできませんでした◆そんな中、天秤棒を担いで品物を地方に売りにいって、その土地の品物を仕入れてはもって帰って売るという往復の商売をはじめたのが、近江商人の特色とされ、日本の商社の原型だともいわれています。

教え込まれた「三方よし」の精神

◆近江商人には「**三方よし**」という言葉があり、「**買い手よし、売り手よし、世間よし**」がモットーです。お客様が喜んでくださらないければ利益は入らず、売る方と買う方がちゃんと向き合って、お互いに満足だと思つた時に、それが社会的に商売として広まっていくな。それが「**三方よし**」の精神だ、と◆また、松居家自身、それとは別に、母からは「**正直、勤勉、儉約**」と、幼児期からくり返し言いかされた、とも綴られています。

ています。

教林坊で研修



◆11月7日、今回の研修視察先に選んだのは、近江八幡市にある**教林坊**。605年に**聖徳太子**により創建されたとされる由緒ある寺院が、昭和50年頃より無人寺となり、荒んだ状態から現在の姿にまで復興されたご住職に、種々お話を伺いました◆本寺の旧宅である松居家の修復・再興にも力を入られておられ、そんなご縁もあって



快く迎えていただきました◆嬉しいことに、

明年には、旧松居家の見学も可能になるとのお話も頂戴しました。

かつおきんや講演会



◆11月5日、児童文学者の**かつおきんや**氏を絵本館ホール夢の本棚にお招きしました◆これまでに空とこども絵本館では、松居直氏の監修で3冊の「**民話絵本**」が制作されていること



もあり、『「昔ばなし」について』との演題でお願いしました◆三百年前に金沢に住んでいた藩士、**森田小兵衛盛昌**が書き残したとされる『**蛤貝の欠喉へ入りたる嬰兒**』という昔ばなし◆ここに出てくる言葉、一つ一つを丁寧に研究され、そこから物語を膨らませていかれる過程のお話にも、参加者は興味津々。古い金沢の絵地図から当時、金沢に住んでいた人々の日常生活にまで思いを巡らせました◆詳しくは『**先人群像七話 三百年前の金沢で**』（かつおきんや著・能登印刷出版部刊）をご覧ください。

松居直の歴史展Ⅱ 「こどものとも」をつくるまで

◆絵本館ホール夢の本棚では、10月1日より12月28日まで3ヶ月にわたり「**絵本の父 松居直の歴史展Ⅱ**」を開催しております◆日本の絵本の源流となった『**こどものとも**』をつくるまでの松居直の足跡を辿って、多数の資料をもとに展示をしています◆ぜひ、この機会をお見逃しなく。

